

高島市市制20周年連携事業



このまちがすき
明日へつなげる
たかしま20

高島市文化協会設立20周年記念誌

文協たかしま

特別号

文協たかしま 特別号

ごあいさつ	1
祝辞	2
副会長・各支部長ごあいさつ	3
各クラブ紹介	
マキノ支部	6
今津支部	8
朽木支部	15
安曇川支部	16
高島支部	21
新旭支部	25
高島市文化協会役員研修・交流会	29
高島文化フェスティバル	29
初心者教室・子ども文化教室	30
文協たかしま	31
組織図	32
歴代正副会長名簿	33
高島市文化協会規約	34
編集後記	37

設立20周年を迎えて



高島市文化協会 会長 伊香 悦子

高島市文化協会設立20周年にあたり誌面をお借りして一言ご挨拶申し上げます。

当協会は、高島市誕生とともに旧6町村の各文化協会が支部として集い「高島市文化協会」として新しくスタートしました。当時の役員のご尽力により、運営の在り方や各支部の特色を生かしながらも力強い歩みができるよう組織体制づくりがされ、今日まで文化活動の推進力となり市民文化の向上を図ることを目的に活動できますことは、諸先輩方並びに会員皆様のご研鑽、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当協会の歩みを振り返りますと、当初は、これまで永きにわたり各地域で開催されていた地域文化祭への参加や各支部での活動を大切に継続しつつ、新しく高島市文化協会文化祭を毎年各地区で持ち回り開催し、当協会の団体基盤を定着させてきました。設立から8年目を迎え、高島市文化協会文化祭は市民会館において県共催事業で開催されていた湖西芸能フェスティバルと1本化し、現在は高島文化フェスティバルと改称・継続し、市民が文化を通じて交流し共に成長できる場の提供に努めています。

さらに、加入団体が主体となって開催する初心者教室・講座、教育委員会との共催事業である子ども文化教室等、市民の文化意識の向上と伝統文化を次世代に継承していくため様々事業を推進しております。

また、文化振興活動事業として、所属団体が自主的にコンサートや出前講座、展示会等の文化芸術活動を企画し、文化力でまちづくりに貢献している事例が数多く見られるようになったことは、当協会として誇れる成果であると嬉しく思っ

ているところです。

この度、市制20周年記念式典におきまして、市制功労者表彰「教育文化功労表彰」を頂きましたことは、これまでの活動をご評価いただいたものと有難く感じております。高島市市民憲章に「歴史と文化を深く知り 新たな学びにつなげます」とありますように私たちの使命は、伝統文化と新しい芸術文化の両方を大切にし、地域の文化活動を支え次世代へと受け継いでいくことです。今後も高島市の文化の発展に貢献できるよう尽力していく所存です。

現在、コロナ禍の影響が尾を引き活動の停滞や高齢化により存続が難しくなっている団体が増加傾向にあるのが当協会の課題であります。このような世の中であるからこそ、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす人生を豊かにしてくれる文化活動が果たす力は重要であると感じております。今後とも皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、この記念誌が会員皆様の心に残る一冊となり、芸術文化の素晴らしさを再確認する機会となることを願っております。



設立20周年を 祝して

高島市長

福井 正明



高島市文化協会が設立20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

高島市文化協会は、高島市の誕生と時を同じくして設立され、20年の長きにわたり文化活動団体の柱として今日に至るまで地域文化の発展に尽力されるとともに、本市の活力を支える大きな力になっていることに、心から感謝申し上げます。これはひとえに歴代会長をはじめ、役員ならびに会員の皆さま方のひとかたならぬご尽力の賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。

また、このたびは、設立20周年を機に記念誌を発行されましたことは、文化協会のこれまでの発展の道のりを振り返り、先人のたゆまぬ努力に改めて思いを致すうえで、誠に意義深いものであり、今後の文化協会のさらなる発展に寄与するものであります。

さて、本市は人口減少や少子高齢化という、これまで経験したことのない課題に直面し、文化の継承や後継者の課題、人々の行動や価値観の変化など時代は大きな転換期を迎えております。こうした状況の中、本市の恵まれた自然環境、先人が大切に伝承してこられた文化的な遺産や特色ある生活文化、市民の主体的な活動から生まれる多様な文化や芸術などを、今後も継続的に発展させていくためには、文化協会の役割はますます重要なものになると考えております。

市といたしましては、今後も引き続き、文化活動による感動や達成感、一体感などの体験を通して、人や地域のつながりづくりを推進してまいりたいと考えております。

貴協会におかれましては、これからも市民の皆さま、関係団体等と手を携えて、文化活動を推進していただき、本市の文化振興にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、高島市文化協会のますますのご発展と、会員の皆さまのご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

積み重ねてこられた 設立20周年を祝して

高島市教育委員会
教育長

川島 浩之



高島市文化協会が記念すべき設立20周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことは誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

高島市文化協会におかれましては、本市で地道に活動されております文化団体が分野を超えて一つに結集され、本市の文化や芸術の発展に大きく貢献されておりますことに深く感謝を申し上げますとともに、歴代役員の方々や関係団体の皆様方のたゆまぬ努力と熱意により、市民の文化芸術活動の中核として、地域に根ざした文化の創造にご貢献をいただいておりますことに、深甚なる敬意を表す次第でございます。

近年、人々の価値観の多様化やめまぐるしい社会環境の変化の中であって、心の豊かさやゆとりが求められています。このような社会の中で、芸術をはじめとする文化活動は、生活に活気や潤いを与えてくれるものと確信しております。

本市の文化の更なる発展のためには、これまで引き継がれてきた文化活動を次代に継承しながら、文化に親しみ、伝えていく人材の育成や環境づくりが必要であり、貴協会の果たされる役割はますます重要となるであろうと考えております。貴協会におかれましては、設立20周年にあたり、市民の文化教養の向上と振興に一層寄与されますことにご期待申し上げます。

高島市文化協会会員の皆様には、今後とも本市の文化芸術振興の牽引役として、地域の文化振興にお力添えをお願い申し上げますとともに、高島市文化協会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

歴史文化を通して 人々のつながりを

高島市文化協会
副会長(マキノ支部長)

峯森 清嗣



高島市文化協会は、このたび創立20周年を迎えました。

当協会は、高島市誕生と共に創立され、市民文化の向上を目的として、文化関係団体相互の交流と連携により、今日まで様々な活動に取り組んで参りました。本年、節目の年を迎えて、改めて、関係の皆様、先輩諸氏の皆様のご尽力、ご支援、ご協力を心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。

当会の組織は、令和6年度現在、6支部、6部門、112団体、1,029名が活動しています。創立当時に比べると、少子高齢化や生活環境の変化等により、また、数年前からのコロナ渦による活動の制約も影響して、構成団体や会員数は減少傾向にあります。

このような状況の中、各公民館と連携しながら、会員拡大と文化継承を目的に、初心者体験教室や子ども文化教室等の実施、そして、高島文化フェスティバルや地域文化祭の開催等に積極的に関わり、関係団体と協力して取り組んでいます。

自然豊かで四季に富んだ高島。歴史文化の息吹く高島。これからも、人とのつながりを大切に、今後とも、皆様の温かいご支援、ご協力をいただき、益々本会が発展していきますように努力していく所存です。

設立20周年を 迎えて

高島市文化協会
副会長(朽木支部長)

海老澤 文代



高島市文化協会は、このたび設立20周年を迎え、これまでの各界の皆様方のご支援、ご協力に、会員一同心からお礼を申し上げます。

当協会は高島市文化振興計画における基本理念「継承と創造、文化でつながるまちをめざして」の実現に向け、行政や各団体の皆さまとともに取り組んでまいりました。特に、6つの基本目標のうちの、新たな文化の創造を支援する活動や文化に関わる人材を育成する活動では、「文化振興活動事業」「子ども文化教室」「初心者教室・講座」を通じて、各分野の指導者の皆さまをはじめ、当協会の役員、会員の皆さまに熱心な取り組みをしていただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

現在、高島市では、会員の高齢化、会員数の減少などの理由で、クラブ活動の低下が見られます。また、コロナ禍の影響も在り、特に青少年の文化活動に触れる機会が減少してきています。この課題を解決するためには、とりあえず、支部同士、あるいはクラブ同士の交流を促進し、高島市の人と人が文化でのつながりを深めてゆくことが大切であると考えております。これからも、高島市文化協会では文化活動を日常の楽しみとして、日々を楽しく、健康で過ごせるように支援をさせていただくつもりです。同時に文化芸術活動の分野において、より多くの市民の皆さまの期待に応えられるように活動を模索しながら、会員一同ともに活動して参りたいと考えております。

設立20周年を 迎えて

今津支部長

中村 徹



今津には文化を愛好する地域の気風があると
言われており、支部には年齢層も幅広い様々な
クラブが存在し、伝統芸能から現代の新しい芸
能、カラオケのような庶民的なものまで多岐に
渡っていますが、社会の趣味傾向の変遷に伴い、
内容や会員構成も変化してきています。

支部の一大イベントは文化祭です。1971年に
第1回今津町文化祭が今中体育館などで分散開
催され、そこから歴代の諸先輩のご努力により
継承され、高島市文化協会が設立された2005年
には第35回文化祭を、そして本年、第53回文化祭
を市民会館にて盛大に開催するに至っています。

前身の今津町文化協会が第1回文化祭から10
年後の1981年に設立されたのですが、文化祭が
その設立の大きな力になったようです。文化祭の
準備と運営を通して、各クラブ間の交流や協
力・支え合いの絆ができ、様々な文化活動の理解
とサポートが広がりかつ深まって行くように思
います。

これからも、心豊かで文化的な地域社会の維
持・発展の為、皆様のご支援・ご協力をよろしく
お願い致します。

設立20周年を期に さらなる発展を

安曇川支部長

植村 勉



高島市文化協会が誕生して設立20周年を迎え
ます。

しかし、私達は予期せぬコロナ禍を経験し、地
域における文化活動をもあきらめなければなら
ない非常事態に陥りました。

これも、時代の節目かと思いつつ、私は安曇川
支部長1期目1年目から文化祭は展示のみを開
催、発表の部は休止を余儀なくしなくてはなり
ませんでした。2年目からの文化祭には発表と
展示を何とか開催する事としましたが、しかし、
今一つ盛上がりには欠けたことにはやや寂しさ
を感じざるを得ませんでした。

現在の高島市文化協会は、各支部の地域密着
型でそれは他の市町村には無い特性があるの
ではないかと思われます。私は支部長2期目を迎
えますが、設立20周年を期に、高島市文化協会
が、さらなる進化し発展する事を希望して私の
言葉とさせていただきます。

活動の場に 感謝

高島支部長

小川 まち江



設立20周年を迎え、このような活動の場があ
ることは有難く感謝いたします。

高島支部は、現在会員15クラブ、124名の
方々が活発な活動をしています。

部門は美術、音楽、伝統音楽、芸能、教養、生活文
化の6部門それぞれに所属し、日々熱心な活動
が展開されています。

我々を取り巻く社会情勢や環境は日々変化し、
少子高齢化も大きな課題となっています。この
ような情勢の中で、文化活動をより活発に発展
させるために、今まで築いてきたことを守り、育
て、より多くの方々に参加していただけるよう
会員一同、仲間意識を高めて活動していきたい
と思います。地域の方々、後世への継承も含め、
展示、発表をするなどして文化活動への参加が
広がることを願っています。

設立20周年を 迎えて

新旭支部長

清川 修



月日の経つのは早いもので、今年度において
20周年を迎えられ、お祝い申し上げます。

これからが20年の節目から脱却して益々盛り
上げていかなければならない。

現在、各クラブの高齢化が進んでいると思
いますが、後継者の育成も大切な事です。

時代の流れで、社会情勢の変化・生活様式も多
様化していますが、文化・芸能活動は人と人、更
に地域と地域を結ぶ大切な役割を担っています。
今この文化協会に加入していない方々、各町の
クラブ状況を覗いて下さい。

新しい発見が生まれて来ると思います。

本年の20周年を契機として、高島地区の文化
協会が益々発展し、魅力ある文化のまちになり
ます事を期待します。